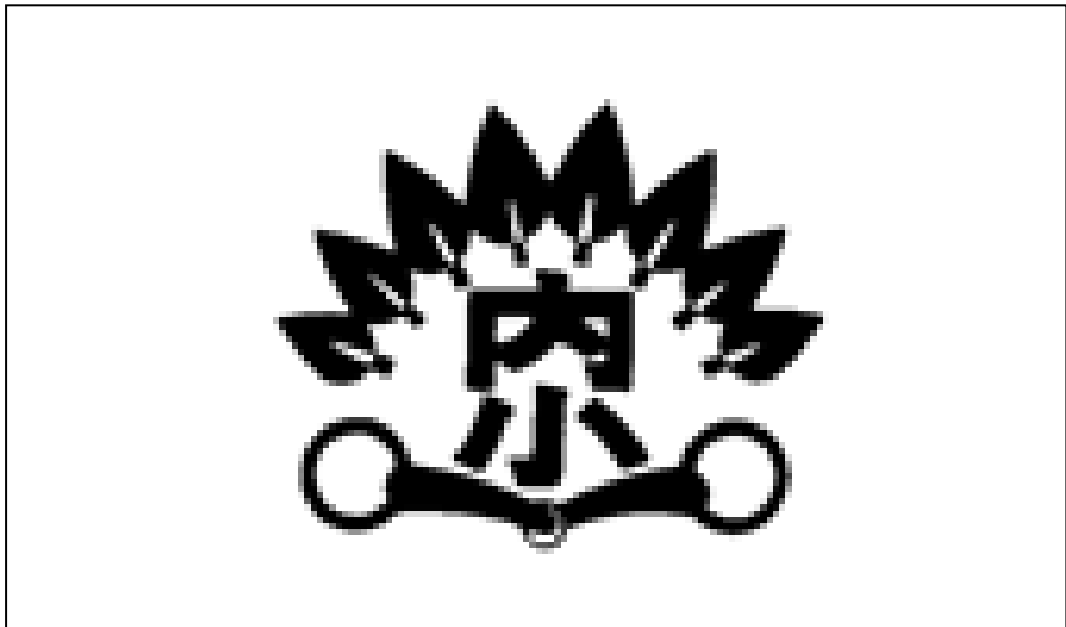


思考ツールを取り入れた授業の工夫
～第3学年における学び合い活動を通して～



1 研究主題

思考ツールを取り入れた授業の工夫
～第3学年における学び合い活動を通して～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

【第3学年の目標】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- 目標(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技術を身に付けるようにする。社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員として自覚を養う。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

【学習指導要領の改訂について（思考力・判断力・表現力等）】

社会科改訂の趣旨の中に、『主体的な学びについては、児童生徒が学習課題を把握しその解決への見通しを持つことが必要である。そのためには、単元などを通じた学習過程の中で動機付けや方向付けを重視するとともに、学習内容・活動に応じた振り返りの場面を設定し、児童生徒の表現を促すようにすることなどが重要である。対話的学びについては、例えば実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりする活動の一層の充実が期待される。しかしながら、話し合いの指導が十分に行われずグループによる活動が優先し内容が深まらないといった課題が指摘される場所であり、深い学びとの関わりに留意し、その改善を図ることが求められる。(P.8)』とある。また、『児童生徒が課題を追究したり解決したりする活動の一層の充実が求められる。それらは、習得した知識や技能を活用して、調べたり思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程において、育成されるもの (P.19)』ともある。

これまでの問題解決的な学習過程をさらに充実させるためには、主体的・対話的で深い学びを目指し、より一層他者と協働して進めることが求められる。そのためには、何を学習してきたか、どんなことを考えてきたかということを知りやすく他者に知らせることが必要となる。このことから、思考ツールの活用が必要と考える。

(2) 印教研社会科研究主題から

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学学習
～自ら課題を見だし、自らの考えを表現できる児童生徒の育成を目指して～

印教研社会科研究主題の主題設定の理由(3)に、『「自分の考えを、言葉や図などで表現すること」、「相手にわかるように、自分の考えを表現すること」など単なる知識・技能の習得だけでなく、社会で生かせる力の育成が各所で課題として挙げられている。児童生徒には、「生きる力」を培う基礎として、社会的・歴史的な事実をもとに調べ、考え、まとめ、表現する力の向上が求められている。印教研社会科研究部としては、これらを踏まえ、学んだことを実生活や実社会において、どのように生かすことができるのか、自分にも関わることがあるのではないかと考え続けることができる児童生徒の育成を目指している。』とある。

そこで、本研究では、事実をもとに調べたことを、考え、まとめ、表現しやすくするための手段として思考ツールを学習の中に取り入れようと考えた。これまでの社会科研究のとりくみを生かし、思考ツールを活用することによって主体的・対話的で深い学びにつなげることができ、その結果「生きる力」を培うことができると考え、本研究主題を設定した。

(3) 本校の教育目標から

本校の学校教育目標は、「学びを生かし、豊かな心とたくましく生きる力を備えた子どもの育成」である。その中で、めざす児童像「問題を見つけ進んで調べる子ども」「学んだことを生活に生かそうとする子ども」を本研究で具現化することができると考える。

(4) 児童の実態から

本校は、全校児童542名の中規模校である。千葉ニュータウンの建設計画により、昭和59年の街開きと同時に入居が始まり開校した。その後、北総鉄道千葉ニュータウン中央駅周辺に大規模マンションや戸建て住宅が建設され、現在児童は増加傾向にある。学区は、半径1kmに入る範囲にあり、そのほとんどが宅地である。また、千葉県立北総花の丘公園があり、憩いの場となっている。

本校の児童における社会科の学力は、千葉県標準学力テスト(令和元年度)ではほぼ平均以上である。しかし、学習態度は全体的に受け身である。関心・意欲が低い学年が多い。また、思考力も低い。授業の様子からも、問題文の把握を苦しめている児童が多い傾向がある。また、説明することを苦手とする児童が多い。アンケートから考えると、間違えることを恐れるあまり、様々なことを自由に考えるということのを避けてきたように思う。なお、児童の実態を調査するために実施したアンケート結果は資料の通りである。(資料編1)

本校では、4年前より昨年度まで算数科の研究を行ってきた。算数科では『主体的に取り組み、学び合う算数科学習をめざして』という主題のもとに進めた。仮説が『表現する力を身につければ、主体的に取り組むことができ、学び合いが深まるだろう。』ということで、①学習形態の工夫、②問題把握・解決方法の確認・提示、③個に応じた支援、④発表の仕方の工夫、⑤聞き方のポイントを知らせる、⑥発問の工夫、⑦ノート作りの工夫、⑧学び合う観点の明確化、という手立てで行ってきた。この算数科研究を社会科に生かすことができ、特に「⑧学び合う観点の明確化」では思考ツールを活用することでできると考え、とりくんできた。

(5) 先行研究から

本研究は、第68次印旛地区教育研究集会 佐倉市立臼井西中学校 田中一成先生の先行研究を参考にした。「社会的な見方・考え方を働かせる授業の在り方～思考ツールを使った単元のまとめ～」ということで、見方・考え方を可視化するために思考ツールを用いる、単元のまとめにおいて取り入れる研究を行っている。課題として、「様々な思考ツールを研究し、その単元を追究する上で適切なものを選択して使っていく必要がある。マトリックス(表)による比較、データチャート(表)による分類、ステップチャートによる推移・時系列、クラゲチャート・イメージマップによる関連付け、自分で使いやすいように組み合わせ、変形、または新たに開発してもよいのではないか。」としている。ここに着目して、本研究では『単元に合うもの、使いやすいものを考えて意図的に取り入れればよいのではないか。』と考えた。

3 研究目標

学び合う場面において、効果的に思考ツールを取り入れることで、児童が主体的に学習活動にとりくみ、自らの考えを意欲的に表現するようになることを明らかにする。

4 研究仮説及び手立て

【仮説】

学び合う場で効果的に思考ツールを取り入れれば、児童は自らの考えを意欲的に表現するだろう。

学習指導要領改訂を受けて、これまでの問題解決的な学習過程をさらに充実させるためには、前述の通り主体的・対話的で深い学びを目指し、より一層他者と協働して進めなければならない。そのためには、何を学習してきたか、どんなことを考えてきたかということをわかりやすく他者に知らせることが必要となるだろうと考え、思考ツールの活用が効果的ではないかと考えた。

ただ闇雲に授業で扱うのではなく、指導者が必要だと思うところで意図的に取り入れることで効果が望めるのではないかと考えた。特に、学び合う場面で、その時に必要な情報をまとめることができる思考ツールを取り入れることで、意欲的に自分の考えを表すことができるだろう。

手立て

- ① 「農家の仕事」・・・農家を見学してわかったことを出し合う場面。⇒イメージマップの活用
- ② 「古い道具と昔の暮らし」・・・古い道具を学び、考察する場面。⇒PMIシートの活用

本研究における定義づけ

① 「学び合い」について

学習指導要領 P.19 教科の目標②課題を追究したり解決したりする活動（学習の問題を追究・解決する活動）において、『「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性

等」の三つの柱に沿った資質・能力を育成するためには、社会科において児童(生徒)が課題を追究したり解決したりする活動の一層の充実が求められる。それらは、習得した知識や技能を活用して、調べたり思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程において、育成されるもの』とある。ここでは主に学習活動の中でも「調べる」「思考・判断・表現」という過程を考えるものとする。

②「思考ツール」について

学習指導要領 P.9～『社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動を位置付けた学習過程を工夫し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するような授業改善を図ること』『社会との関わりを意識して学習の問題を追究・解決する学習の充実を図り、学習過程において「主体的・対話的で深い学び」が実現するような指導方法の不断の見直し、改善を図る。』『(第3学年の目標) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。』とある。これらのことを授業に位置付けるには思考ツールの活用が有用だと考えた。当時の3年生に教えた思考ツールの種類は資料の通りである。(資料編2)

③「自らの考えを意欲的に表現すること」について

以上①②のことから、習得した知識や技能を活用して、調べたり思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程、中でも「調べる」「思考・判断・表現」という過程において、自分の考えをまとめてノートやワークシート・作品等に記述し、それを友達に伝えることを考えるものとする。具体的には、ワークシート等や授業中の観察を通して見取っていく。

5 研究構造図

目指す児童像

○問題を見つけ進んで調べる子ども ○学んだことを生活に生かそうとする子ども

変容の願い

身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解しようとする。

社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを選択・判断したことを表現しようとする。

社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする。

手立て

- ・見通しをもたせる。
- ・学習形態の工夫をする。
- ・学習方法の工夫をする。
- ・教材・教具の工夫をする。
- ・導入・まとめの工夫をする。

⇒単元の学習に合うと考えた思考ツールを意図的に取り入れる。

研究主題

思考ツールを取り入れた授業の工夫
～第3学年における学び合い活動を通して～

主題を支える学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力、人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ・生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 ・市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現している。 ・交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に見られる生産や販売の仕事について、主体的に問題解決しようとしている。 ・市の様子の移り変わりについて、主体的に問題解決しようしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうしたりしている。

※なお、本研究は令和元年度に行ったものを令和2年度にまとめたものです。従って、学習指導要領移行期間にあたり、新旧両方の記述があることをご理解下さい。

6-1 研究実践

(1) 単元名 「農家の仕事」

(2) 単元の目標

- ・地域の農家の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べている。農家の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとする。 (関心・意欲・態度)
- ・地域の農家の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。農家の仕事の工夫を自分たちの生活と関連づけて考え、適切に表現している。 (思考・判断・表現)
- ・観点に基づいて見学したりインタビューしたり、資料を活用したりして、農家の仕事の様子について必要な情報を読み取っている。調べてわかったことをノートや作品にまとめている。 (技能)
- ・地域には農作物の生産にかかわる仕事があり、自分たちの生活を支えていることを理解している。農家の仕事に見られる特色や他地域とのかかわりを理解している。 (知識・理解)

(3) 単元計画 (11時間扱い)

	本時のめあて	○おもな学習活動 ・ 内容	◆指導上の留意点	☆評価
学習問題をつかむ	① 印西市でつくられる作物 印西市では、どんな作物がつくられているのでしょうか。	○地域でつくられている作物を探し、つくられている場所や量を調べ、気づいたことを話し合う。【算数科との関連：棒グラフ】 ・市内巡りでたくさんの田んぼを見た。 ・梨園や梨の直売所がある。 ・地図からいろいろな作物がつけられていることがわかった。 印西市では、いろいろな作物がつけられている。 ①	◆既習事項を生かして地域の作物を調べさせる。 ◆調べた内容から疑問をもたせ、次時へとつなげさせる。	☆ 関意態① 地域の農家の仕事の様子に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。
	②③ 梨農家の恩田さん 梨農家見学をするにあたり、見たいこと聞きたいことから、学習問題をつくりましょう。	○梨ができるまでの大まかな流れを調べる。 ○梨作りについて疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくる。 ・農家の人はどんな仕事をしているのだろう。 ・おいしくするための工夫がありそうだ。 学習問題 梨農家の恩田さんは、梨をおいしくつくるために、どのような仕事をしているのでしょうか。 ②③	◆梨作りの大まかなことについて調べさせ、詳しいつくり方にはふれないようにする。	☆ 思判表① 地域の農家の仕事の様子について、気づいたことや疑問について話し合い、学習問題を見いだそうとしている。
調べる	④ 恩田果樹園に行ったよ 果樹園では、どのように梨がつけられているのでしょうか。	○見学の仕方を確認する。 ・観察の仕方 ・質問の仕方 ・記録の仕方 【国語科との関連：インタビューの仕方】 ○梨農家である恩田さんの畑を見学し、疑問に思ったこと、気づいたことをまとめる。 ・木が均等に並んでいる。・雑草が生えている。 おいしい梨をつくるため、均等に木を植えている。土作りを工夫している。 ④	◆「まなび方コーナー」を活用する。 ◆梨園で梨作りの様子を概観することで、より詳しく知りたいことをまとめさせる。	☆ 思判表① 見学でわかった農家の仕事の様子から疑問に思うことを見出して、詳しく調べる観点を明確にしている。
	⑤⑥ くふうがいっぱいの梨作り 梨作りには、どのような工夫があるのでしょうか。	○疑問に思ったことを整理して農家の方に質問し、わかったことをメモする。 ・土づくり ・農薬、水やり ・機械の使用 ・支柱や網 梨農家では、おいしい梨をつくるために、自然条件を生かしたり安全や効率を考えたりするなどの工夫をしている。 ⑤⑥	◆質問する内容を事前にまとめさせておく。	☆ 技能① 観点に基づいて見学をし、インタビューしたり資料を活用したりして、農家の仕事の様子について必要な情報を読み取っている。 ☆ 知理① 農家の仕事について理解している。
	⑦⑧ 梨作りの1年 梨農家では、1年間どのように仕事をしているのでしょうか。	○梨を育てる1年間の仕事について農家の方に話を聞き、わかったことや考えたことを話し合う。 ・様々な種類(品種)がある。 ・売るのは夏から秋だが、仕事は1年間ある。 ・自然のめぐみを生かして作業している。 梨農家では、自然条件を生かし、季節に合わせて育てている。 ⑦⑧	◆仕事の内容を年間のカレンダーにして、視覚的にとらえさせる。 ◆収穫の時期を品種によってずらしていることをおさえる。	☆ 知理① 農家の方の工夫や努力によって、自分たちの生活が支えられていることを理解している。 ☆ 技能② 調べてわかったことをノートや作品にまとめている。

【ここで活用!】イメージマップ
 農家見学でわかったことを出し合い、
 どんどんつなげていった。(資料編3)

イメージマップを取り入れた意図は?
 ・国語科との関連を図ることができる。
 (3年下巻に出典)。
 ・見学時の写真と対応させやすい。
 ・見学の様子を思い出させやすい。

	<p>⑨⑩いよいよとり入れ</p> <p>どのようにとり入れて、どこに送られるのでしょうか。</p>	<p>○梨の収穫と出荷について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つずつ手作業で収穫する。 ・選果と箱詰めは家族や従業員で協力する。 ・ほとんどの梨は直売所で売られ、買われた梨は宅配便で全国各地に配送される。 <p>梨の取り入れは、手作業で行われている。取り入れた梨は、市内だけでなく、他の県にも送られる。⑨⑩</p>	<p>◆他地域、外国ともつながっていることを明らかにする。</p>	<p>☆<知理②></p> <p>農家の仕事に見られる特色や他地域とのかわりを理解している。</p>
<p>まとめる</p>	<p>⑪ノートにまとめる</p> <p>今までの学習で、わかったことをノートにまとめてみましょう。</p>	<p>○これまでに調べたことを発表して、ノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梨作りの工夫 ・収穫時期の工夫 ・取り入れ、送り先 <p>梨農家では、土づくりをしたり、品種を変えて収穫時期をずらしたりするなど、おいしい梨をつくるために様々な工夫をしている。⑪</p>	<p>◆調べた内容を整理して、ノートにまとめさせる。</p> <p>◆学習問題についてまとめをする。</p> <p>◆さらに調べたいことは、今後は総合で調べていくことを伝える。</p>	<p>☆<思判表②></p> <p>農家の仕事の工夫を自分たちの生活と関連づけ考え、適切に表現している。</p> <p>☆<関意態①></p> <p>農家の仕事と自分たちの生活とのかわりを考えようとする。</p>

6-2 研究実践

(1) 単元名 「古い道具と昔の暮らし」(令和元年度の実施により旧教科書の内容)

(2) 単元の目標

- ・古くから残る暮らしにかかわる道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子に関心を持ち、地域の人々の暮らしの変化について意欲的に調べている。(関心・意欲・態度)
- ・道具の変化と暮らしの変化を関連付けたり、古い道具を使っていたころの暮らしと今の暮らしを比較したりして、人々の暮らしの知恵を考え、適切に表現している。(思考・判断・表現)
- ・古い道具の使い方を体験したり、博物館などで昔の暮らしの様子を見学したりして、地域の人々の暮らしの変化について必要な情報を集め、読み取っている。(技能)
- ・古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子を理解している。(知識・理解)

(3) 単元計画(8時間扱い)

	本時のめあて	○おもな学習活動 ・ 内容	◆指導上の留意点	☆評価
学習問題をつかむ	<p>①身のまわりの古い道具</p> <p>わたしたちの周りには、どんな古い道具があるのでしょうか。</p>	<p>○身のまわりにある古い道具さがしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランプ ・洗濯板とたらい ・昔のアイロンなど <p>○見つけた古い道具について、よく知る人に話を聞く。・どのようにして使っていたのか</p> <p>○古い道具について、わかったことや感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の名前 ・どんなことに使われたか ・いつごろ使われたものなのか ・材料は何か ・どんな色か 	<p>◆道具の持ち主等に話を聞く。</p> <p>◆古い道具について、わかったことや疑問をノートに記録させる。</p>	<p>☆<関意態①></p> <p>古くから残る道具に関心を持ち、その道具をよく知る人の話を聞いて意欲的に調べている。</p>
	<p>②③古い道具を体験する(洗濯板を使った洗濯の体験)</p> <p>古い道具を体験して気づいたことを話し合い、学習問題をつくらう。</p>	<p>○古い道具の使い方について説明を聞く。</p> <p>○古い道具を使ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯板を使って、自分の靴下やハンカチなどを洗う。 <p>○古い道具を使ってわかったことや感じたことを話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔と今の洗濯の違い ・洗濯板で洗濯をしていたころの暮らしの様子 など 	<p>◆実際に洗濯板を使い、洗濯のたいへんさや道具の工夫などを感じ取らせる。</p> <p>◆昔と今の暮らしの違いに着目させ、学習問題づくりを行う。</p>	<p>☆<思判表①></p> <p>古い道具の使い方について説明を聞いた、体験したりしたこと、わかったことや感じたことを話し合い、学習問題を見いだそうとしている。</p>
		<p>学習問題 道具のくふうによって、人々の暮らしはどのようにかわってきたのでしょうか。</p>		

調べる	<p>④昔の暮らし</p> <p>昔の暮らしは、どのような様子だったのでしょうか。</p>	<p>○絵を見てわかったことをノートに書く。 ・使っている道具 ・仕事の様子 ・家のつくり ・着ているもの など</p> <p>○昔と今の暮らしの違いを話し合う。 ・どこがどのように違うか。 ・暮らしの様子が違う原因は何か。 ・わからないことや、もっと知りたいことは何か。</p> <p>お年寄りが子どものころ(80~60年前)は、いろりやかまど等の昔の道具を工夫して使っていた。④</p>	<p>◆絵の中から、まずは、古い道具に着目させ、何をどのように使うかを話し合うようにする。</p> <p>◆古い道具を使っている様子や家のつくり、着ているものなどから、そのころの暮らしの様子について話し合うようにする。</p>	<p>☆<技能①> 古い道具や昔の暮らしの様子について、絵から読み取っている。</p> <p>☆<知理①> 古くから残るくらしにかかわる道具、それらを使っていたころのくらしの様子について理解している。</p>
	<p>⑤⑥道具からくらしの様子を調べる</p> <p>道具は、くらしの中でどのように使われているのでしょうか。</p>	<p>○昔のくらしを調べる。 ・昔の家のつくり ・使われていた道具 ・くらしの様子 など</p> <p>○道具メモにまとめる。 (道具メモの内容) ・道具の名前 ・いつごろ使われていたか ・使い方 ・その頃のくらしの様子 ・工夫</p> <p>昔も今も、くらしをよりよくしようとする人々の願いによって、道具は様々に工夫され使われている。⑤⑥</p>	<p>◆道具の使い方や移り変わりだけでなく、道具とともにくらしも変化してきたことに着目させる。</p>	<p>☆<思判表②> 道具の変化とくらしの変化を関連付けながら、人々の願いや工夫について考え、道具メモなどに表現している。</p> <p>☆<知理②> 道具やくらしの変化は、人々の願いや工夫によるものであることを理解している。</p>
まとめる	<p>⑦⑧くらしのうつりかわり</p> <p>道具とくらしのうつりかわりを道具年表にまとめてみましょう。(2時間)</p>	<p>○調べたことをもとに、道具年表をつくる。 ・道具の移り変わり ・くらしやできごと</p> <p>○道具年表を見て、わかったことや考えたことを話し合う。 ・道具の改良 ・くらしの向上 ・人々の願いや努力があって道具が変わり、くらしも便利になってきた。</p> <p>身のまわりの古い道具には昔の人の生活の知恵や工夫がこめられており、道具の変化とともに地域のくらしも変化し、便利になってきた。⑦⑧</p>	<p>◆道具年表のつくり方を、しっかりとおさえる(「まなび方コーナー」を活用)。</p> <p>◆道具やくらしは、人々の願いや知恵、努力によってよりよくなってきたことについて考えさせ、これからもさらに改良・向上させていきたいという思いをもつようにする。</p>	<p>☆<技能②> 道具やくらし、できごとなどについて調べたことを年表にまとめている。</p> <p>☆<関意態②> 昔の人々の知恵や努力によってくらしが向上してきたことに気づき、今後のよりよい発展について考えようとしている。</p>
	<p>【ここで活用!】PMIシート</p> <p>古い道具のよいところ、よくないところ、おもしろいと思ったことや感想をシートにまとめた。</p> <p>PMIシートを取り入れた意図は?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今と昔のくらしの違いに着目させやすいと思った。 ・人々の願いに迫りやすいと考えた。 <p>【ここで活用!】PMIシート</p> <p>現在の道具のよいところ、よくないところ、おもしろいと思ったことや感想をシートにまとめて、古い道具のシートと比較した。</p> <p>くらしが向上してきたことや知恵や努力に気付くことができた。</p> <p>(資料編4)</p>			

7 仮説の考察

仮説である「学び合う場で効果的に思考ツールを取り入れれば、児童は自らの考えを意欲的に表現するだろう。」を深く考えてみると、ワークシートや作品・ノートの記述（資料編4・5）から、児童は概ね自らの考えを意欲的に表現していたと考える。焦点化することができ、やるべきことが明確だったからではないかと推察する。また、自分や友達の考え方が可視化されたことでも分かりやすくなったのではないかと考える。

一方で、事後にとったアンケート（資料編1）から「④自分の考えをまとめること」については伸び悩んだ。理由を見ると、「時間が掛かってしまい得意ではない。」「面倒臭い。」「考えることが難しい。」「考えている途中でよく分からなくなってしまう。」「どんなことをしても恥ずかしい。」と書かれている。もう少しハードルを下げたあげられるような手立ての工夫や他教科とのさらなる関連付けを考えなければならぬと感じた。

【思考ツールの活用についての考察】

- (1) 見方や考え方が目に見える形に表れる（可視化）ので、わかりやすく、交流しやすかった。
- (2) 狙いを絞りやすくなり、問題把握をさせやすくなる。焦点化しやすかった。
- (3) 考えを深められやすい。自由にシートに記述することができ、豊かな発想が生まれやすいと感じた。また、書いたシートを思考ツールの型に当てはめることもできる。

8 研究のまとめ

<成果>

- ・単元のどの場面で思考ツールを取り入れようかと考えることから教材研究を深めることにつながった。児童の取り組み方や反応を予想し、授業を組み立てていくことはとても大切だと改めて実感した。
- ・思考ツールを知ることで、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善につながれると感じた。それには、それぞれの思考ツールの特性をつかみ、適切に活用していくことが大切だと考える。

<課題>

- ・3年生の社会科は、社会科学習の導入段階である。これまで学習してきた生活科との関連を図りつつ、初めて学習する社会科に対する学習の仕方を身に付けさせることが大切であると感じた。
- ・社会科だけで本研究の思考ツールを使いこなすことは難しい。紙面の都合上省略したが、失敗も多かった。（思考ツールの認識が深まっていない段階での使用。⇒練習が必要。何をどのように書いたらいいか分からない児童への対応。⇒手本のような書き方の例示が必要。）社会科だけで何とかしようとせず、他教科との関連を図ることがより一層重要であると感じた。
- ・「GIGA スクール構想」により、一人一台端末の整備が図られた。今回の研究はそれ以前だったので、アナログ的なアプローチが多かったが、今後はデジタル的にアプローチできる場所は変えていけばさらに研究を深められると思う。

【参考文献】

- ・小学校学習指導要領解説社会編 文部科学省
- ・主体的・対話的で深い学び」を実現する社会科授業づくり 北俊夫 2018年9月 明治図書
- ・「小学校新社会科の単元&授業モデル」 石井正広 他 2018年9月 明治図書
- ・考えるってこういうことか！「思考ツール」の授業 田村学 他 2013年8月 小学館
- ・「深い学び」で生かす思考ツール 田村学 他 2017年2月 小学館

第71次 印旛地区教育研究集会
(社会科教育・小学校)

資料編

印西市立内野小学校
清水 哲朗

1 アンケート結果

(1) 児童アンケート

- ①自分の考えをノートに書くことは好きか 肯定的：77% 否定的：23%
②友達の考えを聞くことは好きか 肯定的：94% 否定的：6%
③自分の考えを友達に伝えることは好きか 肯定的：80% 否定的：20%

- ④自分の考えをまとめることは好きか【事後】 肯定的：73% 否定的：27%

(理由)【肯定的】・みんなに発表するとうれしい気持ちになる。

- ・考えを見せるときに自分の考えが言える。友達が分かってくれる。
- ・友達に見てもらえる。いろいろなことが分かる。
- ・考えがまとまるときは好き。自分でも分かりやすくなる。役立つ。
- ・考えを整理することができる。

【否定的】・やっぱり難しい。書いたり考えたりするのは難しい。

- ・書くのが面倒臭い。時間が掛かるので得意ではない。
- ・考えている途中でよく分からなくなってしまう。
- ・やっぱり少し恥ずかしい。

- ⑤思考ツールを活用した授業はどうか【事後】 肯定的：94% 否定的：6%

(理由)【肯定的】・分けたりつなげたりするのがおもしろい。

- ・つながりが分かりやすかった。見た瞬間に分かる。
- ・分からなかったことが分かるし、友達の考えたことが分かる。
- ・忘れてもすぐに思い出せる。
- ・考えをまとめやすかった。そこから発表できた。
- ・考えを広げることができた。
- ・使いやすかった。いろいろと書けた。

【否定的】・どれがどれだかよく分からなくなる。

(2) 保護者アンケート

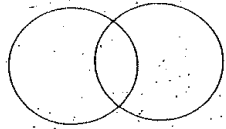
- ①子どもは進んで学習にとりくんでいるか 肯定的：78% 否定的：22%
②進んで家庭学習にとりくんでいるか 肯定的：82% 否定的：18%

⇒この結果から、8割程度の児童は学習に対して意欲的にとりくむことができている。

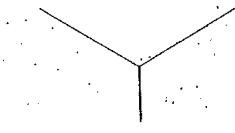
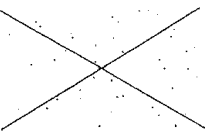
また、(1)の結果を見ると、友達の考えを聞くことはよくても、いざ自分の考えを書き表し、それを友達に伝えるとなると意欲が低下する。いかに、考えて伝えることに対するハードルを下げるができるかがポイントとなる。

6つの思考ツール

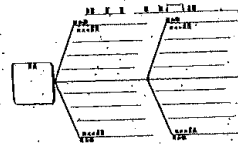
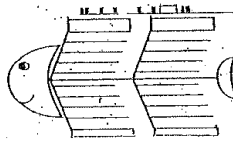
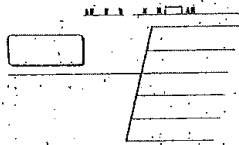
- ① **ベン図** ... 同じところや ちがうところを見つけ出す。くらべる。



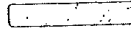
- ② **エックス** **×** **チャート**、**ワイ** **Y** **チャート** ... いくつかのまとまりに分ける。



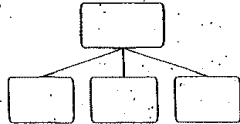
- ③ **くま手図**、**お魚ボーン図**、**ボーン図** ... 見方を変えてみる。



- ④ **イメージマップ**、**コンセプトマップ** ... 習っていることや知っていることを結びつける。



- ⑤ **ピラミッドチャート**、**「なぜ」「なに」シート** ... 関係を考える。まとめる。

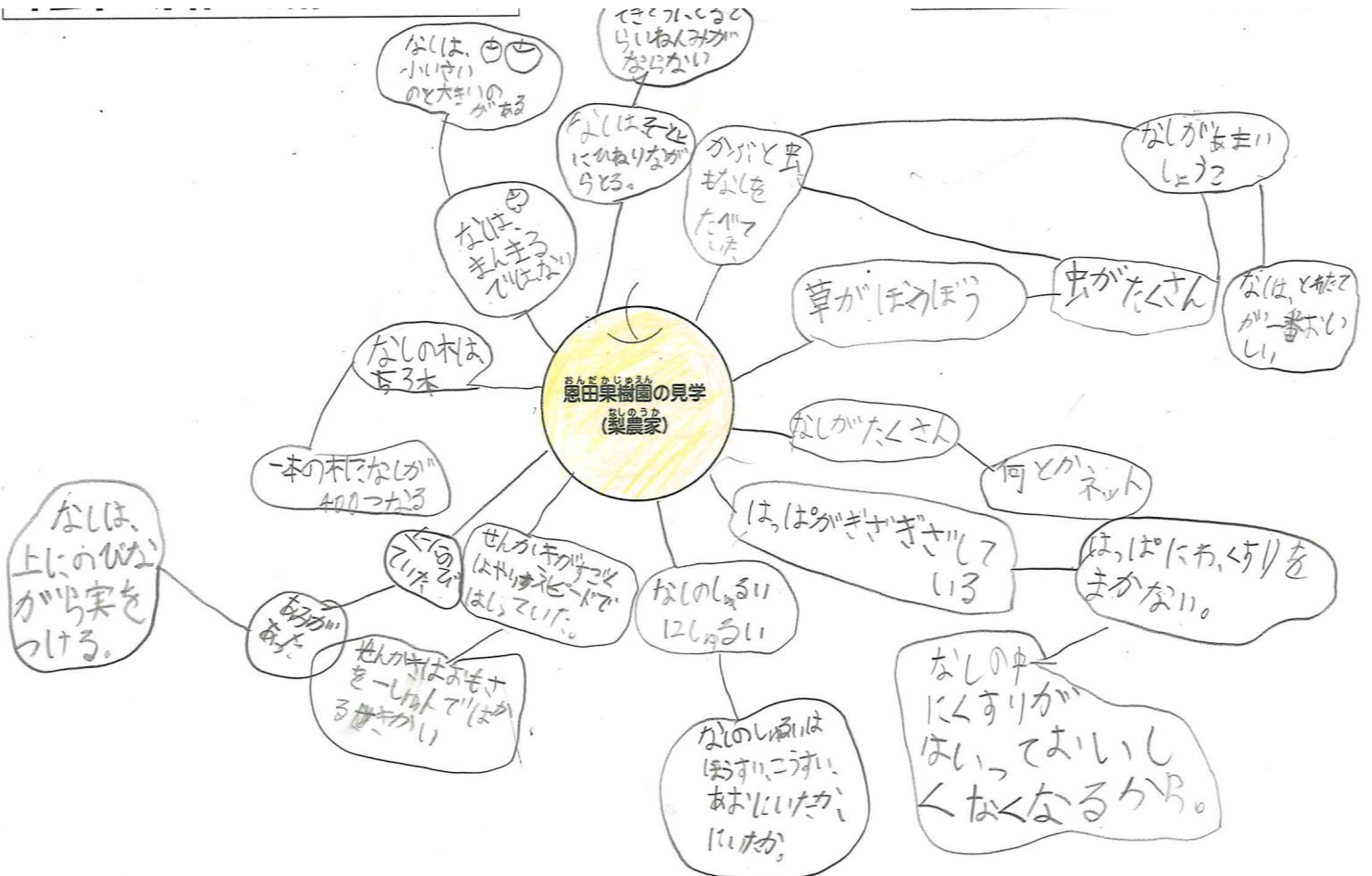
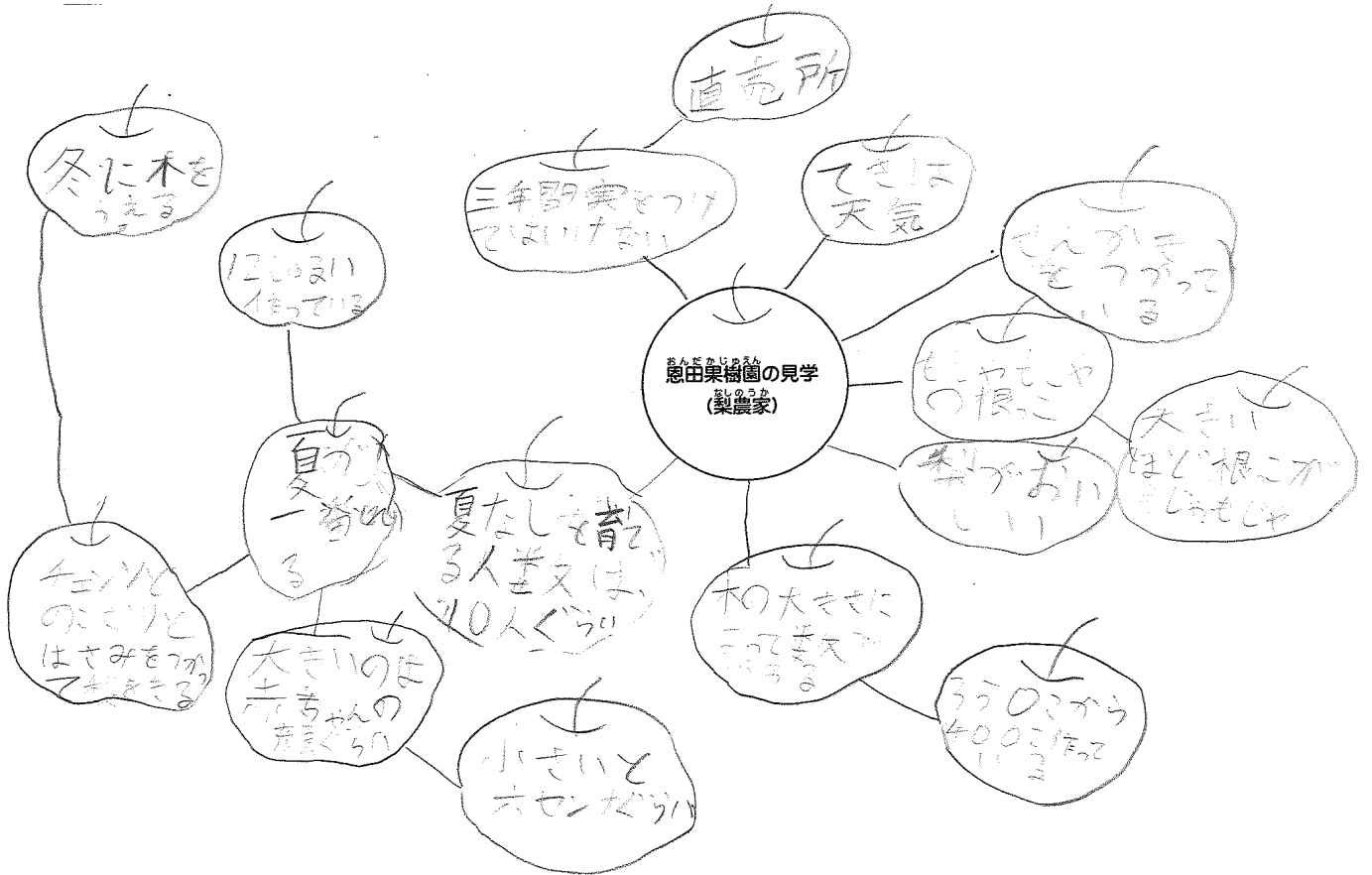


- ⑥ **PMIシート** ... よいところ、よくないところ、おもしろかったところ(感想)に分けて考える。

Plus (強み)	Minus (弱み)	Interesting (感想)

3 イメージマップについて

梨農家見学について思い出するために、見学時の写真を見せながら、思いついたことを書いた。



4 PMIシートについて

①古い道具についての考察場面 ⇒様々な視点で物事を見ることができた。

ランプ

+

- ・明かりがついて
べんり
- ・手で持てはこべる。

-

- ・油を入れて火をつける。
- ・ガラスがよこれるのでガラスみがきは
子どもの仕事。
- ・油のむだ
- ・明かりが小さいから見にくい。

おもしろかった
ところ

感想

- ・今の電気より
使いにくい。
- ・今はスイッチをお
すと電気がつくけ
ど、昔は油を入れて
明かりをつけるから
大へんだと思った。
- ・昔の人は油を入れて
から火をつけるのは
めんどうだなと思
った。けど、こうやって
昔のくらしを思い出
だなあと思いました。

プラス面
それまではランプが無かったところに
ランプができたことの良さが理解でき
ないところには書けない。

マイナス面
現在の明かりとの比較ができないと
こちらにも書けない。

②今と昔の道具の違いについて考えた場面

今のアイロン

アイロン

+) 気がるにアイロンが
できる。
昔よりフグイ
やすくなった。

-) 電気オない
ところでは
フオスない

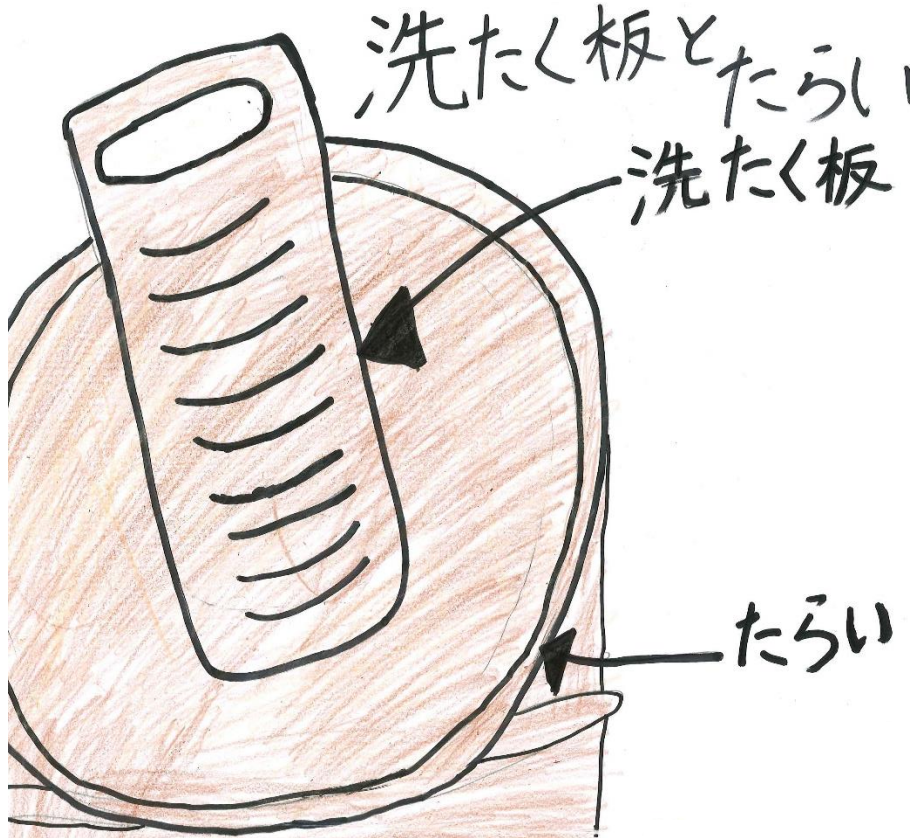
思ノこと
感想
今のアイロン
(は昔よりは
べんりにな
っているけど
まだまだふ
べんなところ
はあるなと
思いました。
今と昔の
アイロンと
では十めん
ボーめんよ
リもおおク
なっていま
した

+) なくをのぼ
せる

-) すみで火をお
こさないとい
けない

おえ、た
こと感想
すみで火
をおてさな
いといけな
いからた
いへんだ
と思いまし
た

③まとめて再活用

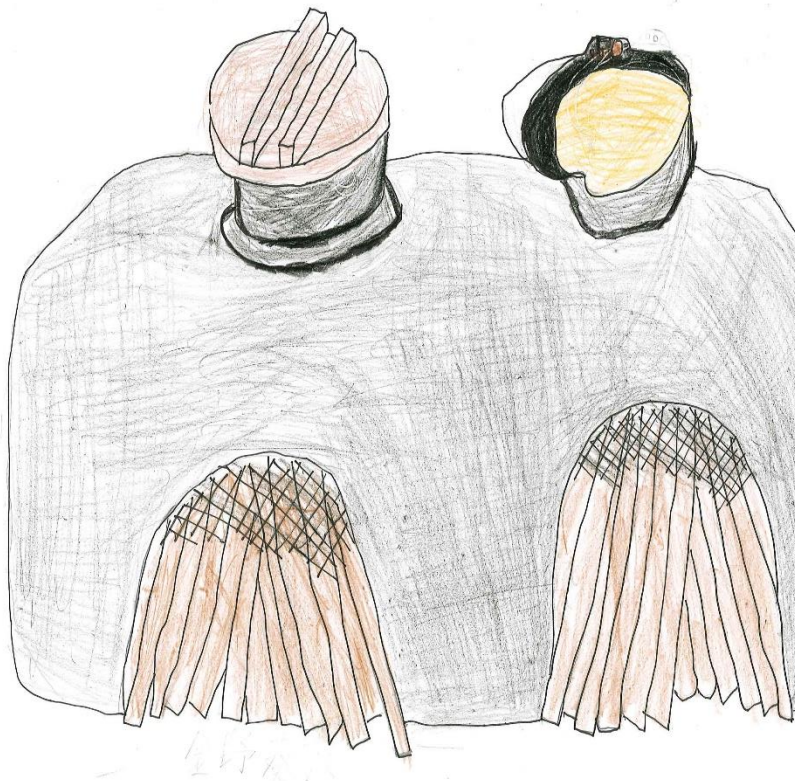


洗たく板とたらい

+) よこれ
所を見る
ことがで
きる。
よこれを
中々に洗
うことが
できる。

-) 冬は水が
つめたい
。今とちがて
全部手洗い
だから今と
ちがてかん
ん。
。洗たく物
がたくある
と時間か
かかる。

感想
心さい体か
してみると思
いるのちが
とてもかん
ん。今とは
もべんりだ
と思た。



かまど

+

- きちんと理由がで
きる。
- 理由をしなから
体を温めることが
できる。
- 今のせいはいそい
おいしくたげる。

-

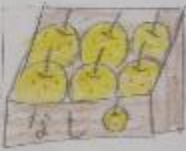




- 火をおこさないとい
いげない。
- 夏になるととてもあつ
く感じる。
- 火をつけるために
おいたやまきがめ
よくなる。
- 旧習慣をいかにする
ときのためにまきぎ
にいかないければなら
ない

感想

- 昔のは、お
米をたの
にきこうするの
は、かわいそ
で。

④農家の仕事でのPMIシート（まとめで活用）

一番なしがうれるきせつ

<p>+</p> <p>なしは夏が 一番うれる。</p>	<p>-</p> <p>うれる分いそが しくなる。</p>	<p>おもしろいこと 感想 気付いたこと</p> <p>○一番いそがしい きせつが夏で 一番うれるき せつも夏でし た。</p>
 	 	

雨水について

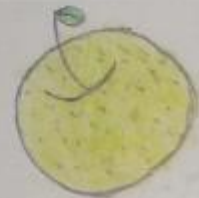


十 雨がふったら水やりはしなくてもいい。

- 一 雨がふらなかつたら梨はなかなかそだたない。
- ・雨がふらなかつたら梨の実がそだたなくて仕事
が休めなくて大へん。

感想

梨をそだてるのが雨水だったことが分かった。



青いネットについて

十

・カラスが梨を食べないように守れる。

一





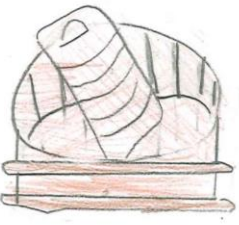



- ・ネットのあいているところから小さい虫が入っちゃう。
- ・ネットの作業はたいへん。

感想

昔はネットではなかったことがわかった。



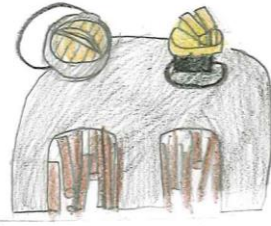

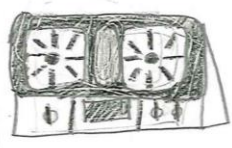
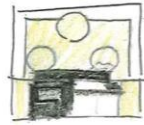



5 ワークシート（道具年表）の感想欄から

料理	 カマド	 ガスコンロ	 ガステーブル	アイイ 
	せんたく板 	せんたく器 	全自動 	

*分かったことや考えたこと

今のくらしは、電気がつかわれているからべんりだけれど、昔は、せんたく板やかまどで手間がかかっているから、いまのくらしがべんり。

⇒くらしの違いについて考察している。

料理	 カマド	 ガスコンロ	 ガステーブル	 アイイ
	せんたく 	+	 せんたく器	 全自動

*分かったことや考えたこと

昔の道具は今より手間かかる。でも、せんたくいたのように昔の道具でせんたくすると、ものすごくよごれがおちる。

⇒今の便利さ、昔の不便さという視点だけでなく、昔の道具の優れた点にも着目している。